



はんだ山の風



Contents

- P2 年頭あいさつ 病院長 瀧川 雅浩
- P2 新任医師の紹介 産科婦人科 加藤 誠
- P3 「病院教授」の称号付与について 医事課
- P3 改正臓器移植法について 実験実習機器センター
院内移植コーディネーター 大田原 佳久
- P4 シリーズ最先端医療「ピロリ菌を除菌して胃癌を予防しよう!」
消化器内科 准教授 古田 隆久
- P5 病気 ここが知りたい「肺動脈性肺高血圧症とその治療」
臨床薬理内科長 渡邊 裕司
- P5 がん医療従事者研修会について 腫瘍センター長 大西 一功
- P6 静岡県総合防災訓練に参加 総務課
- P6 「オータムコンサート」が開催されました 医事課
- P7 The 2010 Children's Ward Christmas Event
浜松医科大学 医学部医学科1年 高仲 舞
- P7 「小さな親切」運動静岡県本部から車いすを贈呈していただきました
医事課
- P8 交通のご案内



浜松医科大学医学部附属病院 常勤・パート看護師募集

お問い合わせ

- 人事課任用係 TEL.053(435)2117
- 看護部事務室 TEL.053(435)2627

病院の理念

患者さんの人権を尊重し、地域の中核病院として安全で良質な医療を提供する。
さらに、大学病院として高度な医療を追求しつつ優れた医療人を養成する。

基本方針

- 患者さんの意思を尊重した安心・安全な医療の提供
- 社会・地域医療への貢献
- 良質な医療人の育成
- 高度な医療の追求
- 健全な病院運営の確立



年頭あいさつ

病院長 瀧川 雅浩

あけましておめでとう
ございます。本年も
よろしく願い申し上
げます。

新春には、うきうき
する気持ちと、張りつめたそして新たな年を迎え
るという緊張した気持ちが入り交じり、仕事始め
を迎えます。初心忘るべからず、ということで、
病院の理念、基本方針を心に刻んで、仕事に望み
たいと思います。

とくに、昨年以上に、安全な医療を心がけ、地
域の医療機関とも密に連携をとって、患者さんに
満足していただける医療を提供したいと思いま
す。

昨年1月に共用を開始した病棟では、スタッフ
の対応も充実しており、また、建物そのものが新
しいということで、患者さんやご家族の方に大変

満足してもらっております。

今年は、外来棟の改築がいよいよスタートしま
す。昨年来、何回も打ち合わせをして、準備万端
のつもりではあります。しかし、10階建ての建
物の6階以上をのこぎり（もちろん特殊な機器で
す）で切り取るわけですから、予想外のことが起
きないとも限りません。そのような場合は、迅速
に対応したいと思っております。

ともかくも、浜松医科大学病院のスタッフは県
西部さらには県の医療を担っているという責任感
を心に強く刻んで、今年一年がんばっていきたく
と思っています。



新任医師の紹介

産科婦人科 加藤 誠

はじめまして。産科婦人科学教室の加藤誠と申
します。私は、平成9年に浜松医科大学を卒業し、
卒業後は産婦人科医を志し、様々な病院で研修を
行ってまいりました。今回、平成22年10月より浜
松医科大学で、勤務させていただくこととなりました。

8年6カ月ぶりに大学に来て、まずびっくりした
ことは、病棟です。病室は、どこもきれいで、大
学病院とは思われないくらいアメニティーが揃っ
ていました。セキュリティもしっかりしており、最
最新の設備、手術室、分娩部にはLDRがあり、今
までとは、一新しておりました。

産婦人科におきましても、8年前とかなり変わ
り、NICUも併設され、今まで以上に、ハイリス
ク妊娠、分娩を取り扱い、婦人科に関しては、悪
性腫瘍手術はもちろん、同時化学放射線療法、
PDT（光線力学療法）、良性腫瘍に関しては、ほ

とんどが腹腔鏡手術とな
ってきております。

さて、私の研究テーマ
ですが、分娩前後の、母
体の免疫系の変化、血液凝固系の変化について研
究しております。分娩は、母児ともに人生の一大
イベントです。赤ちゃんだけでなく、母体にもや
さしい分娩を目標に、研究に取り組んでおりま
す。

最後になりましたが、このような素晴らしい環
境の中で、最新の医療のお手伝いができること、
また医学研究や医学生、研修医などの教育に携わ
ることができ大変うれしく思っております。微力
ではございますが、今後も精一杯頑張っていきた
いと思いますので、皆様よろしくお願ひいたしま
す。



「病院教授」の称号付与について

このたび、本院における診療・教育・研究の充実を図るため、特に臨床面で優れた業績のある本院の教員に対して「病院教授」の称号が付与されることになりました。本院では、平成23年1月1日付けで4名の准教授に対して初めて「病院教授」の称号が付与されましたので、ご紹介します。今後、益々の活躍が期待されます。（医事課）

眼科
佐藤 美保



私は、眼科のなかでも小児眼科と斜視を専門としています。この分野を専門とする医師は大変少ないため、全国から患者さんが来てくださっています。

手術部
白石 義人



手術部の白石です。専門は麻酔・蘇生学ですが手術部運営の効率化と安全性の確保という課題を今後ともスタッフ一同追求したいと思います。ご協力お願いいたします。

放射線部
竹原 康雄



放射線部の竹原です。専門は画像診断一般で、躯幹部MRIがSubspecialtyです。今後も皆が働きやすい環境作りを心がけたいと思います。宜しくお願いいたします。

周産母子センター
伊東 宏晃



今般、病院教授の称号を頂き心より感謝いたします。私の専門は産科であり妊婦と胎児の管理を行っています。若手医師の教育(臨床・研究)に情熱を注いでいきたいと存じます。

改正臓器移植法について

実験実習機器センター

院内移植コーディネーター 大田原 佳久

平成9年10月に「臓器の移植に関する法律」（通称臓器移植法）が施行され、脳死体からの臓器提供が可能となった。本法の特徴は提供者本人の意思が明確に示された書面による記述がなければ提供できないことがあり、本人の意思が認められるのが15歳以上という民法上の理由から、事実上15歳未満の脳死下での提供ができないということとなっていた。少しでも臓器の提供数を増加させ、移植で助かる命を救う目的で本法の改正、施行がなされた。

改正臓器移植法の特徴は本人が臓器提供の拒否の意思（年齢、表示法に制限なし）を示さない限り本人に代わり家族が提供の意思を決定できるというものである。これによって15歳未満の小児からの臓器提供が可能となり、脳死下での提供が可能となる人の絶対数が格段に増加したといえる。これに付随してこれまで提供施設の4類項施設から小児施設が加わり、小児の脳死判定法（6歳未満が対象）も規定された。もう一つは昨年1月から先行施行されている親族優先で提供が認められ

た。

法の改正により実際に提供可能となった人の数が増加したことにより、脳死下の提供数は昨年7月の法施行後だけでも13例と大幅な増加がみられた。そのうちドナーの意思が書面で示されていたのは1例のみで、前法の下ならば1例しか提供が無かったことになる。一方では虐待児からの提供を認めないことから、平成12年に制定された児童虐待法をもとに、提供施設に児童虐待にきちんと対応を示す方策があることが条件となり、これは従来行っていた心停止下の眼球、腎臓提供においても適応されるため、多くの施設では18歳未満の提供を可能にするための手順書、委員会等の設置を行う必要がある。

浜松医科大学医学部附属病院では、過去2例の心停止下の腎臓提供、1例の脳死下提供が行われてきたが、法律の改正により臓器の提供が増加することが考えられ、それらに早期に対応しようと委員会の設立や提供手順の改正を急いでいるところである。



ピロリ菌を除菌して胃癌を予防しよう! —浜松医大ではピロリ菌外来が開設されました—

消化器内科 准教授 古田 隆久

日本人の70%で胃内に感染しているヘリコバクターピロリ菌は、胃がんを発症する最大の原因として知られています。そのため、2009年に日本ヘリコバクター学会から、すべてのピロリ菌は除菌すべきであるという勧告がされました。しかし、日本の保険制度ではピロリ菌に感染している全員の除菌が認められているわけではなく、特定の疾患（消化性潰瘍とMALTリンパ腫、血小板減少症紫斑病、内視鏡的早期胃がんの切除後胃）に限られています。

今回浜松医大で開設されたピロリ菌専門外来では、胃がんの予防を目的での除菌を希望される方や、通常除菌療法で除菌成功にいたらなかった方に対して、日本ヘリコバクター学会認定医がピロリ菌の感染診断から胃がんのリスク評価、さらに個々に応じた最適な除菌方法を提示し、全ての方のピロリ菌を完全に除菌して、健康な胃を取り戻し、最終的には胃癌撲滅に寄与することを目的としております。

ピロリ菌専門外来の特徴

1. 完全予約制で診察を行います。
2. 日本ヘリコバクター学会認定医兼日本消化器内視鏡学会指導医の経験ある医師が診察を行います。
3. 血液検査による胃の健康度評価、胃がんの危険度評価も行います。
4. 先進医療として認定された遺伝子検査を駆使した個別化治療によって高い除菌成功率が得られます。

浜松医大で開発された遺伝子検査に基づくピロリ菌の個別化除菌療法は厚生労働省より先進医療として認可されております。そして、日本で初めて高速の遺伝子解析機を導入したため、検査を受けた当日に結果をご説明し最適な除菌方法をご提示できます。さらに、内視鏡検査中に吸引採取した胃液を検体として用いることができるため、アスピリンやワーファリンといった血液をさらさらにするお薬を内服している方でも検査を受けられます。

診療日・担当医師

月曜日午後1時～ 消化器内科 古田隆久准教授、杉本光繁助教が隔週交代で担当

※完全予約制ですので、事前に予約をお願いします。

◎予約窓口：地域連携室 TEL 053-435-2637 ◎予約受付時間：午前9時～午後5時まで

自費料金と受診の流れ

初回 初診

費用 7,560円(税込)

〈診療内容〉 説明、問診、診察、採血(血清ペプシノゲン、抗ピロリ菌抗体)、(内視鏡検査予約)

2回目受診 胃カメラ検査及び除菌薬処方(個別化療法で行います)

費用 20,000円～35,000円(税込)*内視鏡検査所見により異なります。

〈診療内容〉 内視鏡検査、ピロリ菌検査、遺伝子解析(先進医療)、除菌薬院外処方箋

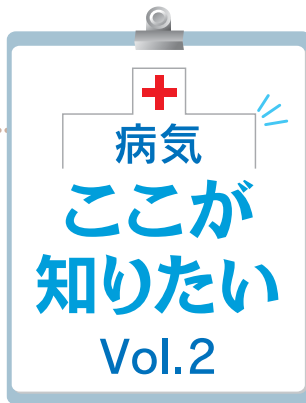
3回目受診 除菌判定(内視鏡検査後の6～10週後)

費用 3,000円～6,000円*内視鏡の所見により異なります。

〈診療内容〉 尿素呼気試験、除菌判定、結果説明

血液検査により、ピロリ菌の有無、血清ペプシノゲンによる胃癌リスク評価のみの受診も可能です。

胃癌は予防可能な時代となってきました。まず、ご自身の胃の健康度をピロリ菌外来で知ることからはじめては如何でしょうか。



肺動脈性肺高血圧症とその治療

臨床薬理内科長 渡邊 裕司

肺動脈性肺高血圧症は、慢性進行性の肺血管増殖が原因となり肺動脈圧の異常な上昇を来す難治性疾患です。原因が不明な特発性肺高血圧症や遺伝性の肺高血圧症のほかに、膠原病や先天性心疾患などによって二次的に生じる肺高血圧症などが含まれ、いずれの場合も、階段や坂道を登ったときの息切れや動悸、突然の失神発作、顔面や下腿のむくみなどの症状が出現します。診断は、胸部レントゲンや心電図、心エコー検査などで比較的容易ですが、最終的には右心カテーテル検査が必要となります。肺動脈性肺高血圧症は稀な疾患とされていますが、30-40歳前後の比較的若い世代の女性に発症例が多く、未治療の場合には確定診断後の平均生存期間は約3年と、生命予後が極めて不良な疾患とされてきました。しかし、この十数年間で肺高血圧症に対する薬物治療は飛躍的な進歩

をとげています。プロスタサイクリン製剤（エボプロステノール）やエンドセリン受容体拮抗薬（ボセンタン、アンプリセンタン）、さらにホスホジエステラーゼ5型(PDE-5)阻害薬（シルデナフィル、タダラフィル）が登場して、その臨床効果が注目されています。PDE-5阻害薬は、当初、勃起不全治療薬（バイアグラ、シアリス）として販売が開始されたクスリです。しかし、そのターゲットとなる酵素が肺組織に濃厚に分布しているため、経口薬であっても肺に良く作用し、肺血管を拡張し、現在では肺高血圧症治療の第一選択薬となっています。さらに最近では慢性骨髄性白血病の治療薬として知られるイマチニブの効果が検討されはじめました。臨床薬理内科ではPDE-5阻害薬をはじめ、多くの新規肺高血圧症治療薬の臨床試験に取り組んでいます。肺動脈性肺高血圧症は長い間、予後不良の疾患と考えられてきましたが、近年の治療薬の進歩は、予後不良な疾患をコントロール可能な疾患へ、さらに治癒可能な疾患へ変化させる可能性を期待させるものです。

がん医療従事者研修会について

腫瘍センター長 大西 一功

去る10月22日に本院の多目的ホールで「がん医療従事者研修会」が行われました。がん医療従事者研修会は、地域のがん医療の均てん化を目的としており、本院では「地域がん診療連携拠点病院」に指定された平成19年から毎年行ってきました。

今年をテーマを「肝がん・膵がん」とし、第2外科の坂口孝宣先生より肝・胆・膵がんの最新の集学的治療についてご講演いただきました。また、肝がんの70%はC型肝炎の方に発生する事から、エルム内科の中島猛行先生からC型肝炎の患者さんの病診連携による肝がんの早期発見についてお話しいただきました。開業医の先生にこの研修会でお話しいただくのは初めての試みでしたが、医療従事者研修会の趣旨に合致した良い講演でした。副院長の小林利彦先生からは、現在浜松地区で実現にむけて強力的に推進している「がん診療地域連携パス」の紹介をしていただきました。同時に発表された各病院のDPCデータベースに基づく患者さんの地域別シェアのグラフは、大変示唆に富むものでした。

現在、標準的な医療に要する労働量は増加する一方で、医療従事者数は相対的に大きく負のバランスに傾き、多くの病院が人手不足に苦勞しています。今後はこうしたクリティカルパスを有効に生かして、患者さんがうまく分散する事により、それぞれの病院、診療所の機能を生かした医療ができる様になる事を願っています。



静岡県総合防災訓練に参加

本院は、静岡県から災害時に救急医療の拠点となるよう「災害拠点病院」の指定を受けています。予測される東海地震では、浜松市だけでも重傷者3,300人、中等傷者14,600人もの被害が想定されます（県防災センター資料参照）。被災地では臨時的救護所や病院で負傷者の救護にあたりますが、負傷者があふれる医療現場では医療スタッフ、医療器材等の不足で十分な治療ができません。

このような非常事態に対応するため、他の地域から駆けつけて被災地での医療をサポートするDMA T（災害派遣医療チーム）や、重傷者を航空機により他県の医療機関に運ぶ「広域搬送」など被災地の医療活動を支援する体制が組まれています。



治療優先度を判定するトリアージ

本院では、毎年9月1日「防災の日」に静岡県が行う総合防災訓練に参加しています。今年は政府と連携した大規模な訓練となり、院内で ①県西部DMA T支援拠点本部の開設と運用（情報伝達・支援要請の調整） ②模擬患者のトリアージ（治療優先度の判定） ③広域搬送を前提とした航空自衛隊浜松基地への模擬患者搬送 などの実動訓練を約3時間に亘って行いました。

訓練には平日の訓練にもかかわらず、実際に他県から参集したDMA Tチームなどを含め院内外100人もの関係者が参加しました。

今後も大規模な災害救護に即応できる体制を維持し、救命率の向上に努めてまいります。（総務課）



自衛隊ヘリによる浜松基地への搬送

「オータムコンサート」が開催されました

10月21日（木）、晩秋の夕暮れ時に本院多目的ホールにおいてボランティアによるオータムコンサートが開催されました。今回のコンサートは本院皮膚科の秦先生のご紹介により実現したもので、浜松市内でご活躍されているヴォーカルグループ”茶夢”の皆さんにご出演いただきました。

当日は、ソプラノ担当の大谷知佳子さん、メゾソプラノ担当の木戸浩子さん、ピアノ担当の内山尚美さんの3名が来院され、オッフェンバック作曲のオペラ「ホフマン物語」より「美しい夜、恋の夜（舟歌）」をはじめ、誰もが知っている「ちいさい秋みつけた」、「雪の降るまちを」等を含め計11曲の歌声を披露していただき、最後は患者さんと一緒に「もみじ」を合唱し、病棟移転後初めてのボランティアコンサートの幕を閉じました。

患者さんや職員は、ソプラノ合唱の透きとおった歌声と表現力豊かなピアノ伴奏に最後まで聴き入り、コンサートが終わると会場は盛大な拍手に包まれました。（医事課）





The 2010 Children's Ward Christmas Event

浜松医科大学 医学部医学科1年 高仲 舞

昨年12月に、毎年恒例のクリスマスイベントが小児病棟で行われました。2006年以来、病棟の看護師さんたち、チャイルド・ライフ・スペシャリスト、そして医科大学英語学教授のオーダウド先生の企画によって行われているイベントです。私たち医学科の学生も、ゲームの準備を手伝ったり、子供たちへのクリスマスカードを作ったり、家にあるものなどからプレゼントを用意したりしました。

当日、サンタさんに変身したオーダウド先生と共に、医学科1年生約20名は小児病棟に向かいました。病棟は可愛く飾られ、サンタの格好をした子がいたりもして、クリスマスの雰囲気溢れていました。

サンタさんの登場に子供たちは驚いていましたが、その後、満面の笑顔で一緒に写真を撮っていました。続いて、ビンゴゲームを行いました。サンタさんが出したのと同じイラストがあればカードにチェック。病室で参加している子供たちには、私たちが伝えに行きました。ビンゴになると、サンタさんがたくさんのプレゼントを持ってやって



きます。みんなプレゼント選びに一生懸命でした。私たち学生は、子供たちの前でクリスマスソングを歌いました。リズムに乗って一緒に歌ってくれる子もいて、楽しく歌うことが出来ました。小学生による楽器演奏もあり、一緒になってクリスマス気分を満喫することが出来ました。

今回のイベントに参加して、子供たちの笑顔に直に触れることが出来、私自身元気をもらうことが出来ました。

「小さな親切」運動静岡県本部から車いすを贈呈していただきました

平成22年12月14日に「小さな親切」運動静岡県本部理事（株式会社丸八真綿 取締役副会長）岡本八大様、同事務局長（静銀総合サービス株式会社 取締役常務執行役員）大石喜一郎様が来院され、車いす4台の贈呈が行われました。

贈呈式は和やかな雰囲気の中で行われ、贈呈後職員を代表して瀧川病院長から、「患者さんの高齢化が進む中、車いすは何台あっても助かります。また、古くなると壊れてくる車いすも出てきます。こうして、昨年に引き続き車いすを贈呈していただき、職員一同、感謝いたします。」と謝辞がありました。

「小さな親切」運動は昭和38年（1963年）から始まり、当時の池田首相がこの民間運動を積極的に支援することを表明しました。その後、地方組織が続々と誕生し、この運動は全国に広がっていきました。「小さな親切」運動本部代表 田中義具さんは、ホームページで「親切が日常生活にある社会を」と題し、「「小さな親切」運動は「人には親切に」という気持ちを心に抱き、できる親切を行動に表す運動です。親切は、簡単にできるように意外と大人でも難しいのは、勇気を少し必要とするからでしょう。」と述べられています。

本院職員一同も、患者さんに対して常に親切な心をもって接したいと考えております。（医事課）



外来診療日一覧

H23.1.1現在

| 診療科名 | 診療日 | | | | | | | | | | 備考 | |
|-----------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----------------------------|
| | 初診 | | | | | 再診 | | | | | | |
| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | | |
| 内科 435-2632 | | | | | | | | | | | | |
| 総合内科(初診・再診) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 第一内科(消化器内科) | ○ | ○ | ○ | ※○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ※○ | ○ | | ※午後診察のみ |
| (腎臓内科) | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | |
| (神経内科) | ○ | ※○ | ○ | | ○ | ○ | ※○ | ○ | | ○ | | ※午前診察のみ |
| 第二内科(肝臓内科) | ○ | ○ | | ○ | ※○ | ○ | ○ | | ○ | ※○ | | ※予約のみ |
| (呼吸器内科) | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | | |
| (内分泌・代謝内科) | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | | |
| 第三内科(血液内科) | ○ | ※○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ※○ | ○ | ○ | ○ | | ※午後診察のみ |
| (免疫・リウマチ内科) | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | | |
| 臨床薬理内科 | ※○ | | | ※○ | | ※○ | | | ※○ | | | ※予約のみ |
| 循環器内科 | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | | |
| ペースメーカー外来 | | | | | | | | ※○ | | | | ※午後(3ヶ月毎予約のみ) |
| 精神科神経科 435-2635 | | | | | | | | | | | | |
| (初診・再診) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| (森田療法) | | | | | | | | ※○ | | | | ※午後診察のみ |
| (児童思春期) | | | | | | | ○ | | | | | |
| (心理検査) | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 小児科 435-2638 | | | | | | | | | | | | |
| (初診・再診) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | | |
| (新生児フォローアップ) | | | | | | | ※1○ | | ※2○ | | | ※1午後診察のみ ※2不定期 |
| (乳児検診) | ※○ | | | | | ※○ | | | | | | ※午後(予約のみ) |
| (内分泌) | ※1○ | ○ | | ※2○ | ○ | ※1○ | ○ | | ※2○ | ○ | | ※1は15時から ※2午前診察のみ |
| (心臓) | | ○ | | ※1○ | ※2○ | | ○ | | ※1○ | ※2○ | | ※1午後予約のみ ※2午後診察のみ |
| (血液) | | | | ※1○ | ※2○ | | | | ※1○ | ※2○ | | ※1午後診察のみ ※2第2・3・4週午後診察のみ |
| (アレルギー) | ※○ | | | | | ※○ | | | | | | ※午前診察・15時から ※予約のみ |
| (神経) | | ※1○ | | ○ | ※2○ | | ※1○ | | ○ | ※2○ | | ※1予約のみ ※2午後は予約のみ |
| (腎臓) | | | | ※○ | ※○ | | | | ※○ | ※○ | | ※午後診察のみ |
| 第一外科 435-2641 | | | | | | | | | | | | |
| (呼吸器) | | | ※1○ | | ※2○ | | | ※1○ | | ※2○ | | ※1第1週午後診察のみ ※2午前診察のみ |
| (小児) | | ※○ | | | | | ※○ | | | | | ※午後診察のみ |
| (消化器・内視鏡) | ○ | | | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | | |
| (乳腺) | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | |
| 心臓血管外科(初診・再診) | ○ | | ○ | | ○ | ○ | | ○ | | ○ | | |
| 第二外科 435-2642 | | | | | | | | | | | | |
| (初診・再診) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | |
| (腸管) | ○ | | | | | ○ | | | | | | |
| (食道・胃) | | | ○ | | | | | ○ | | | | |
| (肝・胆・膵・門脈) | | | | | ○ | | | | | ○ | | |
| (血管) | | ○ | | | | | ○ | | | | | |
| (緩和ケア外来) | | | | ○ | | | | | | ○ | | |
| 光学医療診療部 | | | ○ | | | | | ○ | | | | |
| 整形外科 435-2647 | | | | | | | | | | | | |
| (初診・再診) | ○ | | ○ | ※1○ | ○ | ○ | | ○ | ※1○ | ○ | | ※1午前予約のみ |
| (教授外来、脊椎) | ○ | | | ○ | | ○ | | | ○ | | | |
| 専門外来(骨粗鬆症) | | | | ※○ | | | | | ※○ | | | ※午前診察のみ |
| (リウマチ) | | | ※1○ | ※2○ | | | | ※1○ | ※2○ | | | ※1午後診察のみ ※2午前診察のみ |
| (手・末梢神経) | | | ※○ | | | | | ※○ | | | | ※午前診察のみ |
| (脊椎) | ※○ | | | | | ※○ | | | | | | ※午後診察のみ |
| (腫瘍) | | | ※○ | | | | | ※○ | | | | ※午後診察のみ |
| (股関節) | | | | | ※○ | | | | | ※○ | | ※午前診察のみ |
| (肩関節) | | | | | ※○ | | | | | ※○ | | ※午後診察のみ |
| (膝関節) | | | | | ※○ | | | | | ※○ | | ※午後診察のみ |
| (小児整形) | ※○ | | | | | ※○ | | | | | | ※午後診察のみ |

| 診療科名 | 診療日 | | | | | | | | | | 備考 | |
|---------------------|-----|----|----|----|-----|-----|----|----|----|-----|----|------------------------------|
| | 初診 | | | | | 再診 | | | | | | |
| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | | |
| 脳神経外科 435-2644 | | | | | | | | | | | | |
| (初診・再診) | ○ | ○ | | ○ | ○ | | ○ | | ○ | ○ | | |
| 皮膚科 435-2650 | | | | | | | | | | | | |
| (初診・再診) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| (アトピー外来) | | | ○ | | | | | ○ | | | | |
| (光線過敏症外来) | | ※○ | | | | | ※○ | | | | | ※奇数月第4週のみ |
| (脱毛症外来) | ○ | | | | | ○ | | | | | | |
| 泌尿器科 435-2653 | | | | | | | | | | | | |
| (初診・再診) | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | | | |
| (結石外来) | | ○ | | ○ | | | ○ | | ○ | | | |
| (排尿障害外来) | | ※○ | ※○ | | | | ※○ | ※○ | | | | ※午前診察のみ |
| (不妊症外来) | ※1○ | | | | ※2○ | ※1○ | | | | ※2○ | | ※1午後診察(第2週は休診)のみ ※2午後予約のみ |
| (前立腺密封小線源外来) | | ※○ | | | | | ※○ | | | | | ※午前診察のみ |
| 眼科 435-2656 | | | | | | | | | | | | |
| (初診・再診) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | | |
| 専門外来(網膜変性外来) | | | | | | ※○ | | | | | | ※第4週午後のみ |
| (小児・弱視斜視外来) | | | | | | | | ※○ | | | | ※午後予約のみ |
| (ロービジョン) | | | | | | | | | | ※○ | | ※午後予約のみ |
| 耳鼻咽喉科 435-2659 | | | | | | | | | | | | |
| (初診・再診) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 特殊外来(腫瘍外来) | ○ | | | | | ○ | | | | | | |
| (耳外来) | | | | ○ | | | | | ○ | | | |
| (めまい外来) | | ※○ | | | | | ※○ | | | | | ※午後予約のみ |
| (難聴外来・人工内耳外来) | | ○ | | | | | ○ | | | | | |
| (睡眠時無呼吸・いびき外来) | | | | | ○ | | | | | | ○ | |
| (顔面神経外来) | | | | | ○ | | | | | | ○ | |
| 産科婦人科 435-2662 | | | | | | | | | | | | 女性医師ご希望の方はお申し出ください |
| (初診・再診) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| (婦人科外来) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| (産科外来) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| (腹腔鏡外来) | | ※○ | | | | | ※○ | | | | | ※午後予約のみ |
| (不妊外来) | ※○ | ※○ | | ※○ | ※○ | ※○ | ※○ | | ※○ | ※○ | | ※午後診察のみ |
| (光療法外来) | | | ※○ | | | | | ※○ | | | | ※午後予約のみ |
| (母親学級) | | | | | | | ※○ | | | | | ※予約制 |
| (女性漢方外来) | ※○ | | | | | ※○ | | | | | | ※第2・4週予約制 |
| 放射線科 435-2665 | | | | | | | | | | | | |
| (放射線治療外来) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | 午前のみ |
| (血管内治療外来) | | ○ | | ○ | | | ○ | | ○ | | | 午前のみ |
| 麻酔科蘇生科 435-2668 | | | | | | | | | | | | |
| (初診・再診) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | 午前のみ |
| リハビリテーション科 435-2747 | | | | | | | | | | | | |
| (初診・再診) | | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | | | |
| 形成外科 435-2647 | | | | | | | | | | | | TELは整形外科と共用 |
| (初診・再診) | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | 午前診察のみ |
| 歯科口腔外科 435-2673 | | | | | | | | | | | | |
| (初診・再診) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| (唇顎口蓋裂外来) | | | ○ | | | | | ○ | | | | |
| (インプラント外来) | | | ○ | | | | | ○ | | | | |
| (顎補綴) | | | ※○ | | | | | ※○ | | | | ※診察日は外来にお問合わせください |

① 診療受付時間

一般外来 午前 8時30分 ~ 午前11時まで
 専門外来
 専門外来 午後 0時30分 ~ 午後 2時まで

② 休診日

土曜日および日曜日
 祝日法による休日
 12月29日~翌年 1月3日まで

③ 担当医師名はホームページ(<http://www.hama-med.ac.jp/>)でご確認ください。

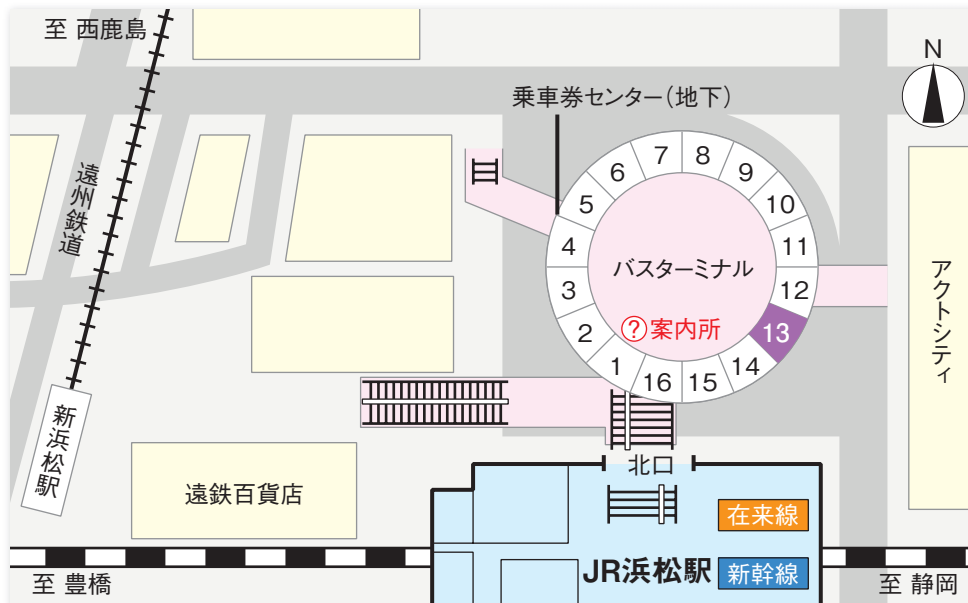
交通のご案内



●バスをご利用の方

| バス乗り場 | 路線番号 | 路線名称等 | 所要時間 | 料金 |
|--------|------|--------------|------|------|
| 13番ポール | 50 | 磐田山の手線医大行き | 約35分 | 410円 |
| | 57 | 医大循環(中央署まわり) | 約35分 | 410円 |

●浜松駅からバスターミナルまで



病院広報 **はんだ山の風** 第2号 平成23年1月発行

発行／浜松医科大学医学部附属病院広報推進委員会 〒431-3192 浜松市東区半田山1丁目20番1号
TEL.053(435)2111(代表) FAX.053(435)2153(医事課) Hpアドレス/ <http://www.hama-med.ac.jp/>